

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

# 株式会社スガサワ

寒河江市にある株式会社スガサワの若手社員、我妻拓哉さん取材しました！  
我妻さんは、山形大学工学部を卒業した後、2019年に入社しました。  
現在は、製造部製造課に勤務しています。

## (1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。

私は航空機用部品の製造を担当しています。

部品製造では、専用の機械を使って材料を加工します。何種類かの機械を使い分けて、段階的に加工していくんですよ。仕様書を確認して数値を設定すると、機械が自動で加工を始めます。

入社当初は取り付けのみを担当していたのですが、最近は段取りの準備も含めて担当するようになっていきます。難しい仕事、大変な仕事を乗り越えた時には、やっぱり達成感がありますね。



——製造以外の仕事をしてみたいと思うことはありますか？

就職活動の時に受けた他の企業では、生産管理の仕事もありました。でも、私は現場で機械を使って働きたいなと思っていたので、製造以外の仕事は考えていませんでした。やりたいことを仕事にするのが、仕事を続けるためには重要だと感じますね。

——我妻さんが思う、スガサワの魅力は何でしょうか。

会社内の雰囲気が良いことや、分からないこと、やりたいことがあれば上司と一緒に考えてくれることです。



例えば、前から使っている工具や、昔から教えられてきた取り付け方法などに対して、やりづらいと感じることもあり、上司に相談することができました。また、定期的に上司と面談する機会があるのは良いですね。

会社内でも、改善点と対策について定期的に発表する機会があります。個人で発表する場合も、グループで発表する場合もありますね。先輩方は「ネタが大変だ」と言っていました（笑）。

## （２）職場編

### ——スガサワに入社を決めた理由は何ですか。

まず1つ目は、スガサワが航空機関連の製造をしていることです。

それから出身が米沢市ということもあり、地元企業に就職したいと考えていました。小さい頃から飛行機に憧れていたのが、パイロットになるのが夢だったんですよ。でも、高校や大学でものづくりを学んでいく中で、航空機関連の会社に入社したいと思うようになりました。

そして、高校や大学も山形で過ごしたので、今まで学んできたことを生かせるような県内企業に入りたいと思っていたところ、合同企業説明会でスガサワを知り、就職を決めました。就職したら、同僚にも山形出身者が多かったですね。



### ——入社して良かったと感じるところや、大変なところはありますか。

やはり社員のみなさんがフレンドリーなところや明るくて雰囲気の良いところですね。わからないことがあって先輩方に聞きに行くと、丁寧に教えてくれます。あとは色々なことをやらせてもらえることですね。最初から複数の機械を任せられた時は、自分でできるのか不安でした。わからない機械を触ったり工程を担当したりするのは怖いですが、ただ、その分楽しさもあります。

## ——先輩との関係も良いんですね！

最初は先輩に教えてもらいながら仕事をしていました。今でも、新しい機械を担当する時など、何かあれば先輩に聞きに行きますね。空いた時間には世間話をします。休憩時間には色々な場所に行っているんですが、自販機の前にいる時に、集まっている人たちと他愛もない話や世間話をしますね。「新商品は飲んでみた？」なんて（笑）。



## ——スガサワにどのような人が欲しいですか？ 理系の人が多いように感じますが、文系の人が入っても大丈夫ですか？

機械系以外の全く違う分野の人が入ってもいいと思っています。機械系だけではなく、別の分野の考え方も取り入れることで多様性を生むことができると思います。

別の分野から入社しても、先輩方がみっちり教えてくれるので全然問題ないです。機械の設定をする時にプログラムが読めないと、最初は難しいと感じるかもしれませんが、でも、入社してから勉強しても大丈夫です。

### (3) むらやまでの暮らし編

## ——山形で働くことの魅力や、山形の良いところは何でしょうか？

生まれてからずっと山形で暮らしていますが、それでも新しい発見が結構あります。たまに別な場所に行くと、また違った山形が見えてきます。そういう時に、山形で暮らしていてよかったなあって感じます。

たまに自分の生活圏から離れた場所に行くんですよ。山を登ってみたり、釣りをしに行ったりすると、「あ、こんな場所があったんだ」という新しい発見が結構あります。こういう場所で暮らしてみたいなと思うこともあります（笑）。



## ——退勤後や休日はどのように過ごしていますか？

先輩から釣りに誘われることがあり、一緒に釣りに行きます。会社から10分ほどで行けるような近場の池や、遠いところだと20分くらいかけて隣町の西川町の池などに行きます。その時の疲労度合いによりますね（笑）

あとは、中古市場に行ったりしますね。何もないときは家に帰って映画を見ます。

コロナウイルスが流行する前だったら、大学のサークルに呼ばれて行ったり、会社の人と飲みに行ったりもしていました。大学のサークルに呼ばれたときは飲み会やイベントにも参加しました。結構騒いでいました（笑）。

ただ、今は出かける機会が減ってきました。最近は家で映画やドラマを見るなど、家に籠ることが多くなりました。家族の影響もあって、Amazon Primeでアクション映画をよく見ます。例えば「バンド・オブ・ブラザーズ」や「インディ・ジョーンズ」、「スターウォーズ」などを見ました。

## ——これまで行った中で、良かったと思った場所やスポットはありますか？



近場だと、コストコの周辺の大きな橋から見る山形市や蔵王の景色がお気に入りです。

米沢市だと、市の南側、山形大学工学部の裏の線路を越えると、田んぼが広がっています。こういう遠くまで見渡せるような、田園風景もいいなと思っています。

## (5) まとめ編

### ——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

まだ入社してそれほど経っていないため、分からないことやできないことが多いので、自分ができないことを少なくしていくことが今の目標です。また、慣れている機械を使った加工では、可能な限り質の高い製品を作ろうと心がけています。出荷前の検査を基準ギリギリでクリアするのではなく、より良いものを目指したいです。



コロナウイルスへの対応で、自分の時間が増えたなと感じています。そこで、新しい資格の勉強をしようと考え始めました。今後、機械操作に関わる資格などを取りたいですね。資格は、自分の引き出しを増やすという意味でも、取っておいて損はないと思います。

——**私たち学生が、社会人になる前に経験しておいた方がいいことは何かありますか。**

色々なことに興味を持って自分で調べてみることでですね。仕事をしているとき、ちょっとしたことにもつながりを感じることもあるので、会社に入った後に後悔するのではなく、会社に入る前にいろいろなことにチャレンジして、自分の中に引き出しをたくさん持っておく方がいいと思います。

——**ありがとうございました！**

私は、工場は閉鎖的な雰囲気、働いている人はみんな自分の作業に集中して社員同士のコミュニケーションが少ないというイメージでした。しかし、スガサワの工場を実際に見て、また、我妻さんのお話を聞いて、そのイメージが一変しました。工場で働いている人もお互いにコミュニケーションをとりながら仕事に取り組み、先輩社員との関係も良好でプライベートで釣りに行くなど、社内は明るい雰囲気、活気のある職場だと思いました。

また、我妻さんは生まれてからずっと山形県内に暮らしていますが、自分の生活圏を離れて別の場所に行くというお話がとても印象的でした。ずっと同じ県に住んでいても、まだ自分が行ったことのない場所はたくさんあるので、まだまだ新しい発見があるのだと思いました。山形県の面積は全国でも有数の広さですので、ずっと山形県内で暮らしている人でも分からないような新しい発見や魅力がまだまだ残っているのではないかと思います。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 高橋依吹・小野誠司、地域教育文化学部 山岸和】



## 株式会社スガサワ

---

【製品に課せられた最も高いハードルは、私たち自身です。】

弊社では創業以来、油圧機械部品をはじめ、建設用重機エンジン部品、船舶や発電機用ディーゼルエンジン燃料噴射部品などの数多くの製品を手掛けています。

求められる品質をクリアするだけでなく、自らが満足できる製品作りを一人ひとりが心掛けています。

- ・所在地 山形県寒河江市中央工業団地 160-2
- ・設立 昭和 51 年 5 月
- ・従業員数 75 名（男性 68 名、女性 7 名）
- ・URL <http://www.sugasawa.com/>

